

第39回資産運用検討委員会 議事要旨

1. 日 時：令和4年6月7日（火）
2. 場 所：日本私立学校振興・共済事業団 東京ガーデンパレス 白鳳
3. 出席委員：川北委員長、和泉委員、金武委員、坂本委員、高橋委員、中村委員

4. 議事要旨

(1) 基本ポートフォリオの検証について

事業団から、足下の運用環境は基本ポートフォリオ策定時とそれ程乖離していないことを前提に、各資産のリスクと相関係数を直近25年間の実績に更新し、リスク関連指標（下方確率・条件付平均不足率）を確認したところ、いずれも策定時と比べて大きな変化は見られないことから、現行の基本ポートフォリオの効率性が維持されているとの検証結果が提案された。

委員からは、インフレ率が上昇傾向であることの影響について質疑があった後、検証結果は了承された。

(2) 令和3年度 業務概況書について

事業団から、厚生年金保険給付積立金、経過的長期給付積立金及び退職等年金給付積立金に係る令和3年度の運用状況及び業務概況書（案）の提案がされた。

委員からは、特段意見はなく、いずれの業務概況書についても原案どおり了承された。

(3) 外国株式にかかる取り組みについて

事業団から、外国株式にESG指数をベンチマークとするパッシブファンドを組入れることについて提案がされた。

委員からは、管理や評価を行う際の留意点、運用コストについて助言がなされ、原案どおり了承された。

(4) 中国債券への投資について

事業団から、これまでの資産運用検討委員会での議論を整理しつつ、ゼロベースで再度検討した方針について提案がされた。

委員からは、定性面におけるリスクを懸念する意見があった一方で、経済的リターンと分散効果とのバランスに配慮した戦略である点は評価できるとの意見があった。

今後も、「専ら被保険者の利益のため」とする法令を遵守しつつ、被保険者に対する説明責任に留意して運用を行うべきとの助言がなされ、原案どおり了承された。

以上